５　学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

（１）学生支援内容について

	担当部署名	内容
就職支援	企画推進部	求人依頼・求人受付・求人情報配信・学生就職ガイダンス・面接指導等・就職指導等
進学支援	企画推進部	指定校情報管理・情報配信
履修支援	学事部、各学科アドバイザー	履修登録相談・指導
生活支援(住居)	企画推進部	住居(アパート情報）の紹介
生活支援(アルバイト)	企画推進部	アルバイトの情報掲示
経済支援	学事部	学費分納・学費延納・奨学金案内・ローン情報の提供
保健・衛生・メンタルヘルス等	学生委員会	カウンセリング室・保健室

（２）奨学金制度について

①学園の奨学金制度

種類	要件	申込方法
一般選抜入学試験Ｉ期奨学金	一般選抜入学試験Ｉ期合格者のうち、当日の試験成績上位者で選考。（各学科２名以内）	入学願書を提出
社会人・学卒者入学試験奨学金	社会人・学卒者入学試験受験者のうち、当日の試験成績優秀者で選考。	入学願書を提出
４年制大学編入『私』宣言奨学金	１年次に卒業後の進路として四年制大学への編入学を目指すことを宣言し、かつ卒業後４年制大学編入学試験に合格、編入学しようとする者	入学後、指定期間に所定の書類を提出
富山福祉短期大学後援会奨学金	学習意欲が高く、経済的理由により修学困難な者	入学後、指定期間に所定の書類を提出

②本学学生が利用可能な外部の奨学金制度

種類	要件	申込方法
日本学生支援機構	経済的理由により修業に困難があると認められる者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
富山県奨学資金	保護者等が富山県内に居住していること、学業成績（GPA）が一定以上（3.5）である者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
射水市奨学資金	射水市に住所を有する世帯に属する者	射水市にて募集要領に沿って手続き
各地方自治体奨学金	各地方自治体に住居を有する者。その他条件については、各自治体によって定められている。	各自治体にて募集要領に沿って手続き
富山県介護福祉士等修学資金	卒業後、富山県内において介護福祉士として業務に従事しようとする者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
富山県看護学生修学資金	看護師免許取得後、富山県内の施設等において看護業務に従事しようとする者	入学後、本学で手続き
各地方自治体看護学生修学資金	看護師免許取得後、各自治体の施設等において看護業務の従事しようとする者	各自治体にて募集要領に沿って手続き
各病院奨学金制度	看護学科に在籍及び卒業後に指定施設にて看護の業務に従事しようとする者	各病院にて募集要領に沿って手続き

（3）ボランティアセンターについて

取組状況の記載	本学のボランティアセンターは、平成 19 年 5 月 1 日に開設されました。短期大学としては先駆的な取り組みであり、短大組織への位置づけも含め、富山県内初の試みとなりました。 ボランティアセンターは、「共に生きる社会・地域づくりへの体験的学びの場としてのボランティア活動を学生に提供し支援することを通して、本学の教育目的である『社会性・創造性豊かな人間形成』を目指すとともに、医療・福祉専門職の養成校として本学の社会貢献的役割を強化充実すること」を目的としています。 ホームページの開設に加え、Google クラスルームでボランティア活動の希望者を募集することで、学生がよりボランティア活動に取り組み易い環境を提供しています。また、ホームページは県内のボランティアを募集する施設等がアクセスしやすい環境を整えています。 当センターでは、三ヶ地区コミュニティーセンター、射水市社会福祉協議会、地域の施設等との連携を重視した運営を行っています。 また、本学では生涯学習力の修得を目的とする総合科目「地域つくりかえ学」においてボランティア活動を推奨しています。その際、ボランティアセンターを活用し、地域の障がい者、高齢者、幼児等の様々なボランティアに取り組んでいます。多くの学生がボランティアをすることの喜びや充実感を得ることができ、ボランティア活動への意欲を高める機会提供の中心となっています。
センターの所在地	富山福祉短期大学 2 号館 1 階「ボランティアセンター」

（4）大学国際交流及び学生の国際交流について

・令和 6 年度において、海外の大学等よりの留学生の受入れ、海外派遣学生の実績はありません。

（５）社会貢献活動及び大学間連携・産官学連携の概要【社会貢献活動】

本学は、福祉、看護、幼児教育の３学科を有しており、それぞれの学科が地域に関わりながら公開講座を実施しています。また、生涯学習授業等として、「地域つくりかえ講座」と銘打ち、講座の開講や地域連携活動を継続して展開しています。関係教職員の協力の下、地域住民、関係機関職員、高校教諭、高校生を対象にこれらを実施しています。

令和６年度の主な実績は、次のとおりです。

No.	実施日	タイトル	受講者数
1	8 月 22 日	現職教員のためのトラストコーチングスクール 1 日集中講座	１名
2	9 月 14 日	現職教員のためのトラストコーチングスクール 1 日集中講座	１名
3	10 月 25 日	ハーブとともにリラクゼーション	１０名
4	11 月 22 日	食育講座	５６名
5	12 月 8 日	臨床美術セミナー	６１名
6	12 月 12 日	ホッと一息　リラクゼーション	１名
7	12 月 21 日	インクルーシブ保育なんでも研修会・相談会 「気になる子どもへのかかわり方～運動遊び～」	１７名
8	1 月 20 日	異文化コミュニケーション	８名
9	3 月 5 日	しあわせのつくりかた ～ポジティブ心理学のエッセンスを学ぶ～	８名
		合計	１６３名

【大学間連携】

本学は、平成９年 11 月から富山県大学長懇話会に参画し、平成 13 年 12 月に富山県大学連携協議会に組織を改組しました。富山県内の高等教育機関 10 機関とともに、相互協力のもと、研究・教育等の連携を推進しています。地域社会とのつながりや、相互の結びつけを深め、教育研究のさらなる向上に寄与することを目的として活動しています。

さらに、平成 25 年４月に富山県大学連携協議会を発展的に解消し、大学コンソーシアム富山として生まれ変わり活動しています。大学コンソーシアム富山は、各機関の知的資源を有効活用し、地域社会に貢献することを目的として設置されています。

【産官学連携】

令和６年度の実績はありません。

Ⅱ　5-（6）心身の健康等に係る支援について

取組状況の記載	本学では学生一人ひとりに担当教員を配置するアドバイザー（AD）制度を設けており、学生が悩みを打ち明けやすい環境を作っています。相談を受けたADは、必要に応じて他の教職員と情報共有し、対応にあたります。 また、5号館に保健室とカウンセリング室を設置しており、保健室は看護師資格をもつ教員が中心となり症状に合わせ適切な処置・指導を行います。カウンセリング室は、月 3 回非常勤カウンセラーを招いており、予約はメールでもできるので周りに知られることなく安心して受ける事ができます。 定期健康診断は年に 1 回実施し、健康確認を行っています。病気や障害等があり学内外の授業で支援が必要な学生がいた場合は、本人に承諾を得たうえで、学内教職員間で病状や発作等の対処法等を共有し、対応しています。 そして令和 7 年 5 月にはキャンパス内に「ふくろう在宅クリニック」が開設されました。地域に開かれた医療機関ですが、予防接種や体調不良時の診察・相談等で学生も利用しています。